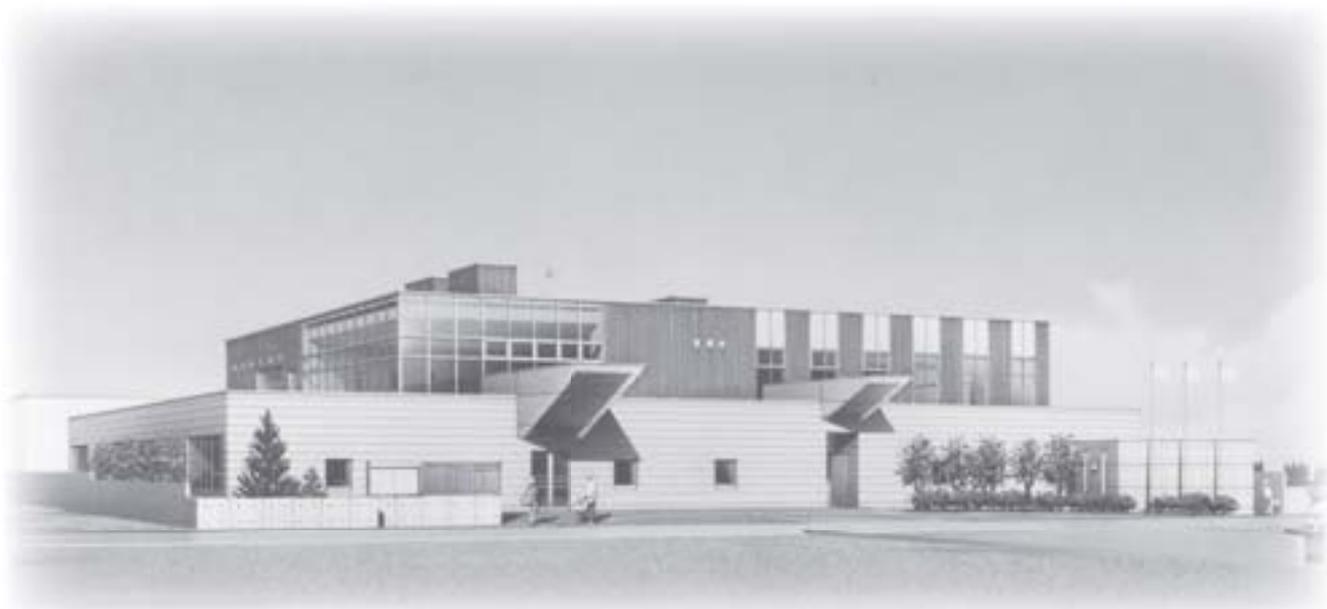


# 「いきいき・きたく」を目指して



▲来年のオープンが待ち遠しい太平地区センターの完成予想図

二十六万人以上が暮らしている私たちのまち北区。区では、より住みよいまちになるよう、さまざまな事業を展開しています。今年度、区内で予定されている主な事業をご紹介します。

## 地域活動の場、 太平地区センター新設

地域住民のコミュニティ活動や生涯学習の場として活用される地区センター。来年一月の完成に向け、区内で四館目となる太平地区センター（太平一二条二丁目）の建設が進められています。

このセンターには、陶芸や料理などに利用できる実習室、可動式ステージを備えた体育室のほか、集会室や図書室などが整備されます。地域の人たちがふれあう場として活用され、住民同士の交流が深まることが期待されます。

## 麻生駅に エレベーター設置

地下鉄南北線麻生駅では、十二月末の完成を目指し、地上へコンコースへホームを結ぶエレベーターの設置工事が進められています。また、オストメイト（人工肛門、人工ぼうこう造設者）にも対応した車いす使用者向けトイレも同時に設置されます。



▶地上部分のほか、地下部分の工事もすでに始まっている麻生駅



◀オストメイトにも対応した車いす使用者向けトイレ（写真：豊平区役所）

## 札幌駅北口に、活動と ふれあいの拠点が誕生

札幌駅北口8・3地区（北八条西三丁目）に建設された地下一階地上十三階の民間ビル「札幌エルプラザ」。九月一日（月）、このビルの一階から四階部分に、さまざまな人たちが集い、学び、そして楽しむことができる四つの公共施設がオープンします。

一、三、四階には、研修室や音楽スタジオ、工芸室、OA研修室などを備えた「男女共同参画センター」を開設。ここでは、趣味やボランティア活動などのための貸室や各種講座、女性のための相談業務などを行います。二階には、